

新技術

—【耐久性＋環境貢献】—



スーパーPETアスコン

廃PETをリサイクル活用した未来につなぐサステナブルな工法



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう

11

住み続けられる
まちづくりを

12

つくる責任
つかう責任

14

海の豊かさを
守ろう

トナーシ

1. プラスチックごみの現状

世界の海洋汚染につながる『ごみ輸出禁止』や、燃やされ大量の温室効果ガス（CO2）を発生して地球温暖化につながる『サーマルリサイクル』に代わる方法として【スーパーPETアスコン】を開発

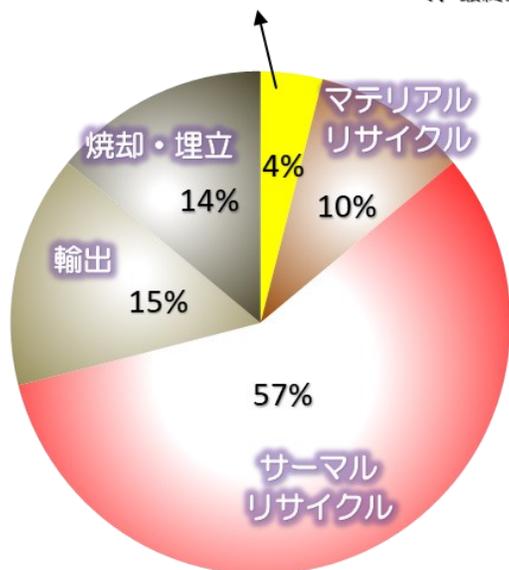
SDGs（持続可能な開発目標）に取り組む一環で、廃棄PET樹脂を活用したエコロジー型高耐久性舗装

ケミカルリサイクル

分子分解⇒新素材

繊維・再生ペットボトルの素材として再利用。やがて性質劣化。元の素材に戻る事なく、最終的に廃棄処分。

中国がごみの輸入を禁止
輸出⇒輸出も各国基準厳格



焼却して熱回収し電力利用
⇒熱回収は燃料代替になるがCO2を増加し地球温暖化

2. スーパーPETアスコンのリサイクルの流れ



3. 従来技術との比較

※花王株式会社 ケミカル事業部門 ホームページより抜粋



4. 工法概要

- 本来であれば捨てられる廃PETを、ケミカルリサイクルによって、有効活用した「スーパーPETアスコン」
- 花王が製造した廃PET由来の特殊添加剤（NT-5000）をアスファルトプラントで混合する技術。
- 持続可能性と環境保護の取り組みを推進しつつ、革新的で耐久性に優れる費用対効果の高い技術。

【高耐久型】



スーパーPETアスコン

高速道路のSAや物流施設構内の大型車用として100㎡につき1,500本分の廃PETを活用した『スーパーPETアスコン工法』

